

Hab. Kiusiu: Prov. Osumi: Isl. Yakusima (Typ. loc.) Prov. Satuma: Mt. Tōyadake, Mt. Sibisan.

Distr. Honsiu: Prov. Kii, Iwadamura.

(Y. Doi.)

## ○亞種名ノ取扱ヒニ就テ (北川政夫)

種名ヲ亞種名ニ變更スル場合ニソノ種名ヨリ先ニ發表サレタ種以下ノ格ノ名ヲ起用セズ最初ノ種名ヲ亞種名ニ用キル人が多イ。例ヘバ最近館脇博士ハかせんさうノ學名ヲ次ノ如ク變更サレテキル。

“*Inula salicina* L. subsp. *Kitamura* TATEWAKI, comb. nov.

*Inula involuerata* MIQUEL in Ann. Mus. Bot. Lugd.-Batav. II (1866), 171, (non KALEN).

*Inula salicina* L. var. *asiatica* KITAMURA in Act. Phytotax. et Geobot. II. (1833), 44.

*Inula Kitamura* TATEWAKI in Bull. Res. Exp. For. Hok. Imp. Univ. X (1935), [146].”

即チハかせんさうヲ *Inula salicina* LINNÆUS ノ亞種ト考ヘル場合 var. *asiatica* ノ名ヲ選バズソレヨリ後ニ發表サレタ *Inula Kitamura* ナル種トシテノ名ヲ用キラレテキル。コレガ私ニハドモ腑ニ落チナイ點デアル。一體亞種トハ何カ。私ハ亞種ハ何處マデモ亞種デアツテ種デハナイ筈ダト思フ。コレヲ地方的ノ種デアルト考ヘルナラバソレハ誤リデアラウ。地方的ノ種ハ又別ニアル筈デ、亞種ハ種ト異リ亞種相互ノ間ニ出來タ子孫ハ必ず繁殖力 (Fertility) ヲ有スルト云フ理論的ナ根據ガナクテハナラヌ。タトヘ一般ノ分類學者ガ一々實驗遺傳學のナ實驗ヲナサズ暫定的ナ説ヲ出シテモソノ取扱ヒハ必ず理論的ニ矛盾ノナイ方法ヲ採ルベキデアラウ。亞種ガ種以下ノ格デアル以上、他ノ變種ヤ品種等ト同格ニ取扱フノガ至當デコレヲ特別ナ考ヘデ律スルノハヨクナイト思フ。同一種類ノモノヲ或人ハ種ト考ヘ、或人ハ亞種ト考ヘルノハドチラカガ必ず誤リデナクテハナラヌ。種ト種以下ノ單位トハ遺傳學的ニ嚴然タル區別ガアルノダカラ、我々分類學者ハコノ點充分ノ思慮ヲ拂フ必要ガアル。種ヤ種以下ノ單位ノ概念ニ對シテ動物學者ノ考ヘハ非常ニ進ミ、カヤウナ問題ニ熱心ナ人が多イガ植物學者殊ニ分類學者ハ考ヘガ封建的デ種ノ問題ニ對シテモ消極的デアルノハ残念デアル。カ、ル問題ハ別ニ今急ニ解決サルベキモノデハナイケレドモ、コレニ對シテ方法論的ニ常ニ着實ニ歩ヲ進メテ行カナクテハ分類學ノ進歩ハ望マレナイノデハナイダラウカ。特別ノ群ヲ専門ニ研究スル人々ハ何ヨリモ先ヅカ、ル問題ニ關心ヲ持チ自己ノ論說ニ理論的ナ根據ヲ持ツテ進ンデイタダカナクテハ私ノヤウナ地方植物研究者ハ何日定マルトモ解ラヌ學名ノ混亂ニタダ戸惑ヒスルバカリデアル。生物ノ命名規約モカウシタ問題ヲ大體定メテカラデナクテハ迫力ガ薄イ。

## ○ひんじがやつり臺灣ニ産ス (鈴木時夫、飯尾 正)

フィリッピンニハおほひんじがやつり、ひんじがやつりノ 2 種ノひんじがやつり屬ヲ産スルガ、臺灣デハおほひんじがやつりノ産スルコトハワカツテキタガ、ひんじがやつりハ未ダ發見サレテキナカツタ。筆者等ハ今度ひんじがやつりが臺灣ニ産スルコトヲ明カニシタ。此處ニ報告スル所以デアル。

**材料** 臺中州豐原郡後里甘蔗園 (飯尾 正 1939 年 8 月 11 日採集)

**標徵** 一年生草本。根ハ鬚狀。株ハ數個ニ分蘗。葉ハ根生、簇生、線形、先端細ク尖リ、基脚急ニ稍擴ガリ、綠色、基部濃紫染、軟草質、基部縁邊膜質透明、長サ 2-4 cm、幅ハ基部 2 mm ニ及ブ。莖ハ無葉、長サ 5-6 cm、苞葉ハ莖ノ先端ニ 2-3、平開又ハ下方ニ開展、葉ト殆ンド同形、異長、長キモノ 2-4.5 cm、花序ハ莖頂ニ 3-4、無柄、卵狀長圓形、密、長サ 4-6 mm、幅 2-3 mm、小穗ハ長サ 0.8 mm 1 花、二側性。前苞 (Vorblatt) ハ先端鑿狀ニ尖リ外反、中肋部ハ稍硬ク、綠色ニシテ龍骨狀、縁邊部ハ膜質透明ニシテ内曲。被苞 (Deckblatt) 2、舌狀、縁邊膜質内曲、下部ノモノ稍大、5 脈、截頭、上部ノモノ稍小 3 脈、稍尖頭。雄蕊 2。雌蕊 1。花柱ハ 3 歧。子房ハ圓柱狀、稍曲ル。柱頭ハ絲狀、紫染。瘦果ハ長サ約 1 mm、褐色、圓柱形、少シク曲ル。

#### 檢定

1. 二側性ノ小穗、2 個ノ被苞ヲ有スルコトヨリ ひんじがやつり 屬ニ一致ス。

2. おほひんじがやつり ハ多年生デ根莖横走、硬イ葉ヲ有スルコトニヨリ、*Lipocarpa sphaceltata* KUNTH ハ花序ガ紫斑ヲ有スルコトニヨリ、又 *Lipocarpa foliosa* Miq. ハ粗剛ノ縁邊ヲ有スルニ列ノ硬イ葉ヲ有スルコトニヨツテ夫々與植物ト背馳スル。

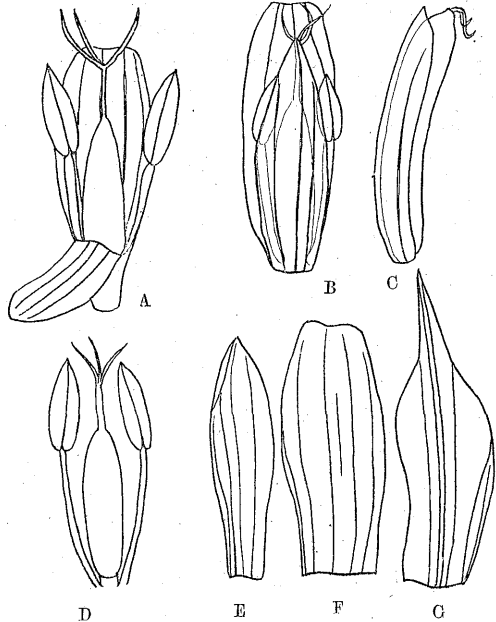
3. ひんじがやつりトハ MIQUEL, HOOKER f. ノ記載及ビ本州産ノ標本、ST 89—武藏國下落合濕地 (鈴木時夫 1926 年 9 月 24 日採集) ト比較ノ結果一致スル。

コノ植物ハ現在ノ所、中部臺灣ノ平地以外ニ産スルコトヲ知ラナイ。

*Lipocarpa microcephala* KUNTH, Enum. II, p. 268 (1837); Miq., Fl. Ind. Bat. III, p. 331 (1855); FRANCH. et SAV., Enum. Pl. Jap. II, p. 120 (1876); Hook. f., Fl. Brit.-Ind. VI, p. 668 (1894); MERR., Enum. Philip. Fl. Pl. I, p. 102 (1925).

[Material] In a sugar-cane field at Kōri, Taityū Prefecture, Taiwan (Iio-Tadasi; Aug. 11, 1939).

The above species is newly added to the flora of Taiwan. So far as the present state of knowledge goes, the occurrence is restricted to the low land plain of middle Taiwan.



A—C. 内地産ノひんじがやつり (ST 89 ヨリ描ク) A. 花 (上位被苞ヲ開イテ内部ヲ見セタモノ) B. 花 (全形) C. 果實 (側面)。D—G. 臺灣ニ新タニ發見サレタひんじがやつり (後里産、飯尾正標本ニヨル) D. 雄蕊及雌蕊 E. 上位被苞 F. 下位被苞 G. 前苞